

平成 28 年 11 月 21 日
気 象 庁

気象庁防災情報 XML フォーマットに係る資料の一部更新について ～ 地方海上警報及び地方海上予報の改善について～

近年の衛星観測に係るリモートセンシング技術の向上等により、海上の風や波の詳細な観測データを入手できるようになったことを踏まえ、海上の風や波を予想する数値予報モデルの改良を進めてきました。

このような成果を基に、地方海上警報及び地方海上予報の内容を詳細化するなど、改善を行った新たな情報の提供を開始します。これに伴い、気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ (<http://xml.kishou.go.jp/>) に掲載されている予報関連資料の一部について、更新を行います。内容は以下のとおりです。

1. 概要

新たに提供する「地方海上警報 (H 2 8) 」及び「地方海上予報 (H 2 8) 」の変更概要は以下のとおりです。

(1) 予想の詳細化

現在、地方海上警報 (海上台風警報、海上暴風警報、海上強風警報、海上風警報、海上うねり警報) では、海上の風や波の実況値に加えて 24 時間以内の最大の予想値を 1 つ表現しています。これについて、予想値をもう 1 つ追加し、最大 2 つまで表現する改善を行います。

また、現在、地方海上予報では、「今日 / 明日」又は「今日から明日 / 明後日」の各予報期間において、海上の風や波の実況値又は予想値について期間当初の値と期間最大の値の最大 2 つの値を表現しています。これについて、値をもう 1 つ追加し、最大 3 つまで表現する改善を行います。

(2) 予想時刻表記の変更

現在、地方海上警報及び地方海上予報では、予想値に達する時刻を「今後 時間以内に」という記述で表現していますが、これについて「 日 時まで」としてよりわかりやすい記述で表現する改善を行います。

また、地方海上予報では、予想値の時間的な推移を「 後 × × 」として表現していますが、海上の風、波及び視程の予想について、可能な場合には「 日 時まで × × 」としてよりわかりやすい記述で表現する改善

を行います。

2．辞書・スキーマの更新について

今回の修正に際して、辞書及びスキーマの更新はありません。

3．スキーマのバージョンについて

今回の修正に際して、スキーマのバージョンに変更はありません。

4．コード表の更新について

今回の修正に際して、コード表に変更はありません。

5．解説資料の更新について

地方海上警報及び地方海上予報の解説資料に、新たに提供する「地方海上警報（H28）」及び「地方海上予報（H28）」に関連する記載を追加しました。また、その他文言や値の適正化、及び誤記の修正等を行いました（別紙参照）。

6．サンプルデータの追加について

新たに提供する「地方海上警報（H28）」及び「地方海上予報（H28）」に対応するサンプルデータを追加します。

7．全内容出力スタイルシートの更新について

既存の地方海上警報及び地方海上予報に対応する全内容出力スタイルシートを、新たに提供する「地方海上警報（H28）」及び「地方海上予報（H28）」に対応するよう更新します。

8．変更の実施時期

平成 29 年 3 月頃を目途として実施する計画です。具体的実施時期については、決まり次第お知らせします。

平成 28 年 11 月 21 日
気象庁予報部予報課

地方海上警報XMLの解説

全体構成

タグ	解説
Report	
Control	管理部。
Title	“地方海上警報”又は“ 地方海上警報(H28) ”と記述する。
DateTime	発表時刻を“2008-08-29T00:10:00Z”のように協定世界時で記述する。未来時刻にはならない。
Status	運用状況を“通常”、“訓練”、“試験”のいずれかで記述する。
EditorialOffice	“札幌管区气象台”、“仙台管区气象台”のように地方海上予報警報の海域に応じた官署名を記述する。ただし、本庁予報課の場合、“気象庁本庁”と記述する。
PublishingOffice	“札幌管区气象台”、“仙台管区气象台”のように地方海上予報警報を発表する官署名を記述する。ただし、本庁予報課の場合、“気象庁予報部”と記述する。
Head	ヘッダ部。Headの詳細を参照。
Body	内容部。Bodyの詳細を参照。

Head の詳細

タグ	解説
Head	
Title	地方海上警報の海域に応じて、“札幌海上気象”、“仙台海上気象”、“東京海上気象”のように記述する。
ReportDateTime	本情報の公式な発表時刻を“2008-08-29T00:10:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
TargetDateTime	本情報の対象となる基点時刻を“2008-08-29T00:10:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
ValidDateTime	本情報の失効時刻を、“2008-08-29T00:10:00+09:00”のように日本標準時で記述する。ただし、“海上警報解除”の時は、記述しない。
EventID	値は記述しない(空タグとする)。
InfoType	“発表”、“訂正”のいずれかを記述する。
Serial	値は記述しない(空タグとする)。
InfoKind	“地方海上警報”と記述する。
InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョンを記述する。本解説のバージョン番号は“1.0_0” 又 は“1.0.1”。
Headline	<u>見出し要素</u> 。Headline の詳細を参照。

HeadLineの詳細を参照

タグ	解説
Headline	「見出し文」見出しの内容を記述する。
Text	値は記述しない(空タグとする)。
Information	「見出し文」見出しの内容を記載。
@type	“地方海上警報”と記述する。
Item	
Kind	
Name	“海上暴風警報”のように海上警報名を記述する。ただし、担当海域の全てにおいて海上警報を解除する場合は、“海上警報解除”と記述する。
Code	“11”のように海上警報名に対応する海上警報コード番号を記述する。
Areas	
@codeType	“地方海上予報区”と記述する。
Area	地方海上警報対象地域を記述する。
Name	“関東海域南部”のように地方海上警報の対象となる地方海上予報区名を記述する。
Code	“3020”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。

Body の詳細

タグ	解説
Body	
Warning	警報事項を記述する。
@type	“地方海上警報”と記述する。
Item	
Kind	
Name	“海上暴風警報”のように海上警報名を記述する。ただし、担当海域の全てにおいて海上警報を解除する場合は、“海上警報解除”と記述する。
Code	“12”のように海上警報名に対応する海上警報コード番号を記述する。
Property	各警報事項について記述する。ただし“海上警報解除”の場合は省略する。
Type	“風”、“濃霧”、“うねり”、“着氷”のいずれかを記述する。
WindPart	風に関する警報を記述する。WindPart の詳細を参照。
VisibilityPart	海上濃霧警報を記述する。VisibilityPart の詳細を参照。
WaveHeightPart	海上うねり警報を記述する。WaveHeightPart の詳細を参照。
IcingPart	海上着氷警報を記述する。IcingPart の詳細を参照。
Area	地方海上予報区を記述する。
Name	“関東海域南部”のように地方海上警報の対象となる地方海上予報区名を記述する。
Code	“3020”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。
MeteorologicalInfos	気象状況を記述する。MeteorologicalInfos の詳細を参照。

WindPart の詳細

タグ	解説
WindPart	風に関する警報を記述する。
SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのもの場合は要素を省略する。
Sentence	<p><u>/Control/Title="地方海上警報"の場合は“関東海域南部では 南又は南西の風が次第に強まり 今後6時間以内に 最大風速は 50ノット(25メートル)に達する見込み”のように、/Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合は“関東海域南部では 南又は南西の風が次第に強まり 10日15時までに 最大風速は 50ノット(25メートル)に達する見込み”のように</u>地方海上警報の平文を記述する。</p>
Base	卓越風の実況または変化前の状態を記述する。
jmx_eb:WindDirection	風向を“北西”のように記述する。風向を記述しないときは要素を省略する。
@type	“風向”と記述する。
@unit	“8方位漢字”と記述する。
jmx_eb:WindSpeed	“50”、“25”のように風速を記述する。ただし、値を記述せず(「空タグ」とする場合)、予報の対象時間と予想を記述するとき(風が次第に強まる場合)は、@condition に“次第に強まる”を記述する。
@type	“最大風速”または“風速”のいずれかを記述する。風速の値を記述するときは“最大風速”と記述する。風速の値を記述しない(「空タグ」とする)ときは“風速”と記述し、@condition に“次第に強まる”を記述する。
@unit	“m/s”または“ノット”のように単位を記述する。

@condition	必要時、卓越風の状態について“次第に強まる”を記述する。
@description	“50ノット”、“25メートル”、“次第に強まる”のように記述する。
Becoming	風の予想を記述する。警報事項が実況のみの場合は省略される。 <u>/Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</u>
TimeModifier	<u>/Control/Title="地方海上警報"の場合は“後”又は“今後6時間以内に”、若しくは“今日夕方から”のように予報の対象時間を、/Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合は“後”又は“10日15時までに”のように、予報の対象時間を語句として記述する。</u>
jmx_eb:WindDirection	風向を“北西”のように記述する。風向を記述しないときは要素を省略する。
@type	“風向”と記述する。
@unit	“8方位漢字”と記述する。
jmx_eb:WindSpeed	“65”、“35”のように風速を記述する。ただし、値を記述せず(「空タグ」とする場合)、実況と予報の対象時間に値を記述するとき(風が次第に弱まる場合)は、@condition に“次第に弱まる”を記述する。
@type	“最大風速”または“風速”のいずれかを記述する。風速の値を記述するときは“最大風速”と記述する。風速の値を記述しない(「空タグ」とする)ときは“風速”と記述し、@condition に“次第に弱まる”を記述する。
@unit	“m/s”または“ノット”のように単位を記述する。
@condition	必要時、卓越風の状態について“次第に弱まる”と記述する。
@description	“65ノット”、“35メートル”、“次第に弱まる”のように記述する。
Remark	「突風に注意」など、付加事項を記述する。付加事項がない場合は要素を省略する。

VisibilityPart の詳細

タグ	解説
VisibilityPart	濃霧に関する警報を記述する。
SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのものの場合は要素を省略する。
Sentence	“関東海域では 所々で濃い霧のため見通しが悪く 視程は 0.3海里(0.5キロ)以下”のように地方海上警報の平文を記述する。
Base	視程の実況または警報の基準値を記述する。
jmx_eb:Visibility	“0.5”、“0.3”のように視程を記述する。ただし、値を記述せず(「空タグ」とする場合)、予報の対象時間と予想を記述するとき(視程が次第に悪くなる場合)は、@condition に“次第に悪くなる”を記述する。
@type	“視程”と記述する。
@unit	“km”、“海里”のように単位を記述する。
@condition	視程が実況値あるいは警報の基準値以下になると明示するために、“以下”と記述する。または必要時、視程の状態について“次第に悪くなる”と記述する。
@description	“0.5キロ以下”、“0.3海里以下”、“次第に悪くなる”のように記述する。
Becoming	警報の基準値に達する視程の予想を記述する。警報事項が実況のみの場合は省略される。 <u>/Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</u>
TimeModifier	<u>/Control/Title="地方海上警報"の場合は“後”又は“今後24時間以内に”のように予報の</u>

	対象時間を、 <u>/Control/Title="地方海上警報(H28)"</u> の場合は“後”又は“10日15時まで”のように、 <u>予報の対象時間を語句として</u> 記述する。
jmx_eb:Visibility	“0.5”、“0.3”のように視程を記述する。ただし、値を記述せず(「空タグ」とする場合)、実況と予報の対象時間に値を記述するとき(視程が次第に良くなる場合)は、@condition に“次第に良くなる”を記述する。
@type	“視程”と記述する。
@unit	“km”、“海里”のように単位を記述する。
@condition	視程が予想値あるいは警報の基準値以下になると明示するために、“以下”と記述する。または必要時、視程の状態について“次第に良くなる”と記述する。
@description	“0.5キロ以下”、“0.3海里以下”、“次第に良くなる”のように記述する。

WaveHeightPart の詳細

タグ	解説
WaveHeightPart	うねりに関する警報を記述する。
SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのもの場合は要素を省略する。
Sentence	/Control/Title="地方海上警報"の場合は“檜山津軽沖では うねりが高く うねりの高さは 4メートル 4メートル 今後18時間以内に 4メートル 6メートル”のように、 /Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合は“檜山津軽沖では うねりが高く うねりの高さは4メートル 11日03時まで 6メートル”のように地方海上警報の平文を記述する。
Base	うねりの実況または変化前の状態を記述する。
jmx_eb:WaveHeight	“ 8 ”、“ 404 ”、“ 6 ”のようにうねりの高さを記述する。ただし、値を記述せず(「空タグ」とする場合)、予報の対象時間と予想を記述するとき(うねりが次第に高くなる場合)は、@condition に“次第に高くなる”を記述する。
@type	“うねりの高さ”と記述する。
@unit	“m”のように単位を記述する。
@condition	必要時、うねりの状態について“次第に高くなる”と記述する。
@description	“ 9メートル 4メートル”、“ 43メートル 6メートル”、“次第に高くなる”のように記述する。
Becoming	うねりの予想を記述する。警報事項が実況のみの場合は省略される。/Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。
TimeModifier	/Control/Title="地方海上警報"の場合は“後”又は“今後24時間以内に”のように予報の

	対象時間を、 <u>/Control/Title="地方海上警報(H28)"</u> の場合は“後”又は“10日15時まで”のように、 <u>予報の対象時間を語句として</u> 記述する。
jmx_eb:WaveHeight	“ 8 ”、“ 404 ”、“ 6 ”のようにうねりの高さを記述する。ただし、値を記述せず(「空タグ」とする場合)、実況値と予報の対象時間を記述するとき(うねりが次第に収まる場合)は、@condition に“次第に収まる”を記述する。
@type	“うねりの高さ”と記述する。
@unit	“m”のように単位を記述する。
@condition	必要時、うねりの状態について“次第に収まる”と記述する。
@description	“ 9メートル <u>4メートル</u> ”、“ 13メートル <u>6メートル</u> ”-、“次第に収まる”のように記述する。

IcingPart の詳細

タグ	解説
IcingPart	着氷に関する警報を記述する。
SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのもの場合は要素を省略する。
Sentence	<u>/Control/Title="地方海上警報"の場合は“檜山津軽沖では 並みの着氷 今後18時間以内に 強い着氷の恐れがある”のように、/Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合は“檜山津軽沖では 並みの着氷 11日03時まで に 強い着氷となる恐れがある”のように、地方海上警報の平文を記述する。</u>
Base	着氷の実況または変化前の状態を記述する。警報事項が予想のみの場合は省略される。
jmx_eb:Icing	“弱い”、“並”、“強い”のいずれかで着氷の程度を記述する。
@type	“着氷の程度”と記述する。
@description	“弱い着氷”、“並みの着氷”のように記述する。
Becoming	着氷の予想を記述する。警報事項が実況のみの場合は省略される。 <u>/Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</u>
TimeModifier	<u>/Control/Title="地方海上警報"の場合は“後”又は“今後24時間以内に”のように予報の対象時間を、/Control/Title="地方海上警報(H28)"の場合は“後”又は“10日15時まで に”のように、予報の対象時間を語句として記述する。</u>
jmx_eb:Icing	“弱い”、“並”、“強い”のいずれかで着氷の程度を記述する。ただし、値を記述せず(「空タグ」とする場合)、実況値と予報の対象時間を記述するとき(着氷の程度が次第に弱まる場合)は、@condition に“次第に弱まる”を記述する。

@type	“着氷の程度”と記述する。
@condition	必要時、着氷の状態について“次第に弱まる”と記述する。
@description	“弱い着氷”、“並みの着氷” 、 “次第に弱まる”のように記述する。

Meteorological Infos の詳細

タグ	解説
MeteorologicalInfos	概況事項を記述する。
@type	“気象要因”と記述する。
MeteorologicalInfo	概況を記述する。
DateTime	観測時刻を“2008-08-11T06:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
Name	観測日時を”11日06時”のように記述する。
Item	
Kind	
Property	概況の内容を記述する。
Type	“概況”と記述する。
SynopsisPart	じょう乱など、警報の要因となっている事項を記述する。
jmx_eb:Synopsis	台風や低気圧などのじょう乱の諸元、前線、あるいは“所々濃霧が発生している”、“気圧の傾きが急になっている”などのように、概況の平文を記述する。概況がない場合は値(平文)を記述しない(「空タグ」とする)。
@type	“気象要因”と記述する。
Area	地方海上予報区を記述する。
Name	“日本海北部及びオホーツク海南部”のように概況の対象とする地方海上予報区名を記述する。
Code	“1000”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。

例 WindPart の例 ([Control/Title="地方海上警報"の場合](#))

例	解説
<pre> <WindPart> <SubArea> <Sentence>東海海域南部では 南又は南西の風が強く 最大風速は4 5 ノット (2 3メートル)</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit=" 8 方位漢字">南</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit=" 8 方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit=" ノット" description=" 4 5 ノット">45</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description=" 2 3メートル">23</jmx_eb:WindSpeed> </Base> </SubArea> </WindPart> </pre>	<p>実況の場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>風向は、1つないし2つ記述。</p> <p>風速は、単位を変えて2つ記述し、1組ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</p>
<pre> <WindPart> <SubArea> <AreaName>沿岸部</AreaName> <Sentence>津軽海峡では 沿岸部で 東の風が強く 最大風速は 3 5 ノット (1 8メートル) 今後1 2時間以内に 5 0 ノット (2 5メートル) 突風に注意</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit=" 8 方位漢字">東</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit=" ノット" description=" 3 5 ノット">35</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description=" 1 8メートル">18</jmx_eb:WindSpeed> </Base> <Becoming> <TimeModifier>今後1 2時間以内に</TimeModifier> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit=" ノット" description=" 5 0 ノット">50</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description=" 2 5メートル">25</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Remark>突風に注意</Remark> </SubArea> </pre>	<p>実況と予想を記述する場合。</p> <p>地方海上予報区内の特定地域を示す場合。平文を記述。</p> <p>風向は、1つないし2つ記述。</p> <p>風速は単位を変えて2つ記述し、1組ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</p> <p>予報の対象期間を記述。</p> <p>必要時、付加事項を記述。</p>

<pre> </WindPart> <WindPart> <SubArea> <Sentence>津軽海峡では 東の風が次第に強まり 今後 2 4 時間以内に 最大風速は 4 0 ノット (2 0 メートル) に達する見込み 突風に注意</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" condition="次第に強まる" description="次第に強まる" /> </Base> <Becoming> <TimeModifier>今後 2 4 時間以内に</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit=" 8 方位漢字">東</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit=" ノット" description=" 4 0 ノット">50</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description=" 2 0 メートル">25</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Remark>突風に注意</Remark> </SubArea> </WindPart> <WindPart> <SubArea> <Sentence>釧路沖では 南東の風が強く 最大風速は 4 0 ノット (2 0 メートル) 今後 1 2 時間以内に 次第に弱まる見込み 突風に注意</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit=" 8 方位漢字">南東</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit=" ノット" description=" 4 0 ノット">40</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description=" 2 0 メートル">20</jmx_eb:WindSpeed> </Base> <Becoming> <TimeModifier>今後 1 2 時間以内に</TimeModifier> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" condition="次第に弱まる" description="次第に弱まる" /> </Becoming> <Remark>突風に注意</Remark> </SubArea> </WindPart> </pre>	<p>予想で次第に強まる場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>実況の値は記述せず、「次第に強まる」を記述。</p> <p>予報の対象期間を記述。 風向は、1つないし2つ記述。 風速は単位を変えて2つ記述し、1組ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。 必要時、付加事項を記述。</p> <p>予想で次第に弱まる場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>風向は、1つないし2つ記述。 風速は単位を変えて2つ記述し、1組ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</p> <p>予報の対象期間を記述。 予想の値は記述せず、「次第に弱まる」を記述。 必要時、付加事項を記述。</p>
---	---

<p></SubArea> </WindPart></p>	
---	--

|

例 WindPart の例 (/Control/Title="地方海上警報 (H 2 8)" の場合)

例	解説
<pre> <WindPart> <SubArea> <Sentence>東海海域南部では 南又は南西の風が強く 最大風速は45ノット(23メートル)</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="45ノット">45</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="23メートル">23</jmx_eb:WindSpeed> </Base> </SubArea> </WindPart> </pre>	<p>実況の場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>風向は、1つないし2つ記述。</p> <p>風速は、単位を変えて2つ記述し、1組ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</p>
<pre> <WindPart> <SubArea> <AreaName>沿岸部</AreaName> <Sentence>津軽海峡では 沿岸部で 東の風が強く 最大風速は 35ノット(18メートル) 10日21時までに 50ノット(25メートル) 11日09時までに 65ノット(35メートル) 突風に注意</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">東</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="35ノット">35</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="18メートル">18</jmx_eb:WindSpeed> </Base> <Becoming> <TimeModifier>10日21時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="50ノット">50</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="25メートル">25</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Becoming> <TimeModifier>11日09時までに</TimeModifier> </pre>	<p>実況と予想を記述する場合。</p> <p>地方海上予報区内の特定地域を示す場合。平文を記述。</p> <p>風向は、1つないし2つ記述。</p> <p>風速は、単位を変えて2つ記述し、1組ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</p> <p><Becoming>では予想を記述。予報の対象期間を記述。</p> <p><Becoming>は最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</p>

<pre> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="65ノット">65</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="35メートル">35</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Remark>突風に注意</Remark> </SubArea> </WindPart> <WindPart> <SubArea> <Sentence>津軽海峡では 東の風が次第に強まり 10日21時までに 最大風速は 30ノット(15メートル)に達する見込み 11日09時までに 最大風速は 40ノット(20メートル)に達する見込み 突風に注意 </Sentence> <Base> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" condition="次第に強まる" description="次第に強まる"/> </Base> <Becoming> <TimeModifier>10日21時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">東</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="30ノット">30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="15メートル">15</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Becoming> <TimeModifier>11日09時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">東</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="40ノット">40</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="20メートル">20</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Remark>突風に注意</Remark> </SubArea> </WindPart> <WindPart> <SubArea> </pre>	<p><u>必要時、付加事項を記述。</u></p> <p><u>予想で次第に強まる場合。</u></p> <p><u>平文を記述。</u></p> <p><u>実況の値は記述せず、「次第に強まる」を記述。</u></p> <p><u><Becoming>では予想を記述。</u></p> <p><u>予報の対象期間を記述。</u></p> <p><u>風向は、1つないし2つ記述。</u></p> <p><u>風速は、単位を変えて2つ記述し、1組ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</u></p> <p><u><Becoming>は最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</u></p> <p><u>必要時、付加事項を記述。</u></p> <p><u>予想で次第に弱まる場合。</u></p>
--	--

<pre> <Sentence>釧路沖では 南東の風が強く 最大風速は 40ノット(20メートル) 10日21時までに 次第 に弱まる見込み 突風に注意</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南東</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="40ノット">40</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="20メートル">20</jmx_eb:WindSpeed> </Base> <Becoming> <TimeModifier>10日21時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" condition="次第に弱まる" description="次第に弱まる"/> </Becoming> <Remark>突風に注意</Remark> </SubArea> </WindPart> </pre>	<p>平文を記述。</p> <p>風向は、1つないし2つ記述。 風速は、単位を変えて2つ記述し、1組ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</p> <p>予報の対象期間を記述。 予想の値は記述せず、「次第に弱まる」を記述。 必要時、付加事項を記述。</p>
---	---

例 VisibilityPart の例 ([/Control/Title="地方海上警報"の場合](#))

例	解説
<pre> <VisibilityPart> <SubArea> <Sentence>関東海域では 所々で濃い霧のため見通しが悪く 視程は 0.3 海里 (0.5 キロ) 以下</Sentence> <Base> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="以下" description="0.3 海里以下">0.3</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="以下" description="0.5 キロ以下">0.5</jmx_eb:Visibility> </Base> </SubArea> </VisibilityPart> </pre>	<p>実況の場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>視程の値を、単位を変えて記述。</p>
<pre> <VisibilityPart> <SubArea> <Sentence>檜山津軽沖では 所々で濃い霧のため見通しが次第に悪くなり 後 視程は 0.3 海里 (0.5 キロ) 以下になる見込み</Sentence> <Base> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="次第に悪くなる" description="次第に悪くなる"/> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="次第に悪くなる" description="次第に悪くなる"/> </Base> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="以下" description="0.3 海里以下">0.3</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="以下" description="0.5 キロ以下">0.5</jmx_eb:Visibility> </Becoming> </SubArea> </VisibilityPart> </pre>	<p>予想で次第に悪くなる場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>実況の値は記述せず、「次第に悪くなる」を記述。</p> <p>予報の対象期間を記述。 視程の値を、単位を変えて記述。</p>

```

<VisibilityPart>
  <SubArea>
    <Sentence>檜山津軽沖では 所々で濃い霧のため見通しが悪く 視程は 0.3海里(0.5キロ)以下 後 次第に良くなる見込み</Sentence>
    <Base>
      <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="以下" description="0.3海里以下">0.3</jmx_eb:Visibility>
      <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="以下" description="0.5キロ以下">0.5</jmx_eb:Visibility>
    </Base>
    <Becoming>
      <TimeModifier>後</TimeModifier>
      <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="次第に良くなる" description="次第に良くなる"/>
      <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="次第に良くなる" description="次第に良くなる"/>
    </Becoming>
  </SubArea>
</VisibilityPart>

```

予想で次第に良くなる場合。

平文を記述。

視程の値を、単位を変えて記述。

予報の対象期間を記述。

予想の値は記述せず、「次第に良くなる」を記述。

例 VisibilityPart の例 (/Control/Title="地方海上警報 (H 2 8)" の場合)

例	解説
<pre> <VisibilityPart> <SubArea> <Sentence>関東海域では 所々で濃い霧のため見通しが悪く 視程は 0 . 3 海里 (0 . 5 キロ) 以下</Sentence> <Base> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="以下" description="0 . 3 海里 以下">0.3</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="以下" description="0 . 5 キロ 以下">0.5</jmx_eb:Visibility> </Base> </SubArea> </VisibilityPart> </pre>	<p>実況の場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>視程の値を、単位を変えて記述。</p>
<pre> <VisibilityPart> <SubArea> <Sentence>檜山津軽沖では 所々で濃い霧のため見通しが次第に悪くなり 1 0 日 2 1 時までには 視程は 0 . 3 海里 (0 . 5 キロ) 以下になる見込み</Sentence> <Base> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="次第に悪くなる" description="次第に悪くなる"/> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="次第に悪くなる" description="次第に悪くなる"/> </Base> <Becoming> <TimeModifier>1 0 日 2 1 時まで</TimeModifier> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="以下" description="0 . 3 海里 以下">0.3</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="以下" description="0 . 5 キロ 以下">0.5</jmx_eb:Visibility> </Becoming> </SubArea> </VisibilityPart> </pre>	<p>予想で次第に悪くなる場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>実況の値は記述せず、「次第に悪くなる」を記述。</p> <p>予報の対象期間を記述。</p> <p>視程の値を、単位を変えて記述。</p>


```
<VisibilityPart>
  <SubArea>
    <Sentence>檜山津軽沖では 所々で濃い霧のため見通しが悪く 視程は 0.3海里(0.5キロ)以下 11日
09時まで 次第に良くなる見込み</Sentence>
    <Base>
      <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="以下" description="0.3海里以下
">0.3</jmx_eb:Visibility>
      <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="以下" description="0.5キロ以下
">0.5</jmx_eb:Visibility>
    </Base>
    <Becoming>
      <TimeModifier>11日09時まで</TimeModifier>
      <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="次第に良くなる" description="次第に良くなる"/>
      <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="次第に良くなる" description="次第に良くなる"/>
    </Becoming>
  </SubArea>
</VisibilityPart>
```

予想で次第に良くなる場合。

平文を記述。

視程の値を、単位を変えて記述。

予報の対象期間を記述。

予想の値は記述せず、「次第に良くなる」を記述。

例 WaveHeightPart の例 (/Control/Title="地方海上警報" の場合)

例	解説
<pre> <WaveHeightPart> <SubArea> <Sentence>檜山津軽沖では うねりが高く うねりの高さは 10メートル<u>6メートル</u></Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" description="10メートル<u>6メートル</u>">406</jmx_eb:WaveHeight> </Base> </SubArea> <SubArea> <AreaName>沿岸部</AreaName> <Sentence>檜山津軽沖では 沿岸部で うねりが次第に高くなり 今後6時間以内に うねりの高さは 9メー トル<u>4メートル</u>に達する見込み</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" condition="次第に高くなる" description="次第に高くなる"/> </Base> <Becoming> <TimeModifier>今後6時間以内に</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" description="9メー トル<u>4メートル</u>">94</jmx_eb:WaveHeight> </Becoming> </SubArea> </WaveHeightPart> </pre>	<p>実況の場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>波高を記述。</p> <p>予想で次第に高くなる場合。 地方海上予報区内の特定地域を示す場合。 平文を記述。</p> <p>実況の値は記述せず、「次第に高くなる」を記述。</p> <p>予報の対象期間を記述。 うねりの高さの値を記述。</p>
<pre> <WaveHeightPart> <SubArea> <Sentence>檜山津軽沖では うねりが高く うねりの高さは 10メートル<u>6メートル</u> 今後18時間以内に 次第に収まる見込み</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" description="10メートル<u>6メートル</u>"> </pre>	<p>予想で次第に収まる場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>波の高さの値を記述。</p>

```
">406</jmx_eb:WaveHeight>  
  </Base>  
  <Becoming>  
    <TimeModifier>今後 1 8 時間以内に</TimeModifier>  
    <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" condition="次第に収まる" description="次第に収まる  
"/>  
  </Becoming>  
</SubArea>  
</WaveHeightPart>
```

予報の対象期間を記述。
予想の値は記述せず、「次第に収まる」を
記述。

例 WaveHeightPart の例 (/Control/Title="地方海上警報 (H 2 8)" の場合)

例	解説
<pre> <WaveHeightPart> <SubArea> <Sentence>檜山津軽沖では うねりが高く うねりの高さは 6メートル</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" description="6メートル">6</jmx_eb:WaveHeight> </Base> </SubArea> <SubArea> <AreaName>沿岸部</AreaName> <Sentence>檜山津軽沖では 沿岸部で うねりが次第に高くなり 10日15時までに うねりの高さは 4メートルに達する見込み</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" condition="次第に高くなる" description="次第に高くなる"/> </Base> <Becoming> <TimeModifier>10日15時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" description="4メートル">4</jmx_eb:WaveHeight> </Becoming> </SubArea> </WaveHeightPart> </pre>	<p><u>実況の場合。</u></p> <p><u>平文を記述。</u></p> <p><u>波高を記述。</u></p> <p><u>予想で次第に高くなる場合。</u> <u>地方海上予報区内の特定地域を示す場合。</u> <u>平文を記述。</u></p> <p><u>実況の値は記述せず、「次第に高くなる」を記述。</u></p> <p><u>予報の対象期間を記述。</u> <u>うねりの高さの値を記述。</u></p>
<pre> <WaveHeightPart> <SubArea> <Sentence>檜山津軽沖では うねりが高く うねりの高さは 6メートル 11日03時までに 次第に収まる見込み</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" description="6メートル">6</jmx_eb:WaveHeight> </Base> <Becoming> </pre>	<p><u>予想で次第に収まる場合。</u></p> <p><u>平文を記述。</u></p> <p><u>波の高さの値を記述。</u></p>

<pre><TimeModifier>1 1日0 3時まで</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="うねりの高さ" unit="m" condition="次第に収まる" description="次第に収まる" /> </Becoming> </SubArea> </WaveHeightPart></pre>	<p>予報の対象期間を記述。 予想の値は記述せず、「次第に収まる」を記述。</p>
--	---

例 SeaIcePart+IcingPart の例 (/Control/Title="地方海上警報" の場合)

例	解説
<pre><IcingPart> <SubArea> <Sentence>サハリン東方海上では 弱い着氷の恐れがある</Sentence> <Base> <jmxEb:Icing type="着氷の程度" description="弱い着氷">弱い</jmxEb:Icing> </Base> </SubArea> </IcingPart></pre>	<p>実況の場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>着氷の程度を記述。</p>
<pre><IcingPart> <SubArea> <Sentence>サハリン東方海上では 後 並みの着氷の恐れがある</Sentence> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmxEb:Icing type="着氷の程度" description="並みの着氷">並</jmxEb:Icing> </Becoming> </SubArea> </IcingPart></pre>	<p>予想で後現象が発現する場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>予想の値のみなので、#Base-Base 要素は省略。</p> <p>予報の対象期間を記述。</p> <p>着氷の程度を記述。</p>
<pre><IcingPart> <SubArea> <Sentence>サハリン東方海上では 並みの着氷の恐れがあるが 今後 1 2 時間以内に 次第に弱まる見込み</Sentence> <Base>- <jmxEb:Icing type="着氷の程度" description="並みの着氷">並</jmxEb:Icing> </Base> <Becoming> <TimeModifier>今後 1 2 時間以内に</TimeModifier> <jmxEb:Icing type="着氷の程度" condition="次第に弱まる" description="次第に弱まる"/> </Becoming> </SubArea> </IcingPart></pre>	<p>予想で次第に収まる場合。</p> <p>平文を記述。</p> <p>着氷の程度を記述。</p>

<pre></Becoming> </Base> </SubArea> </IcingPart></pre>	<p>予報の対象期間を記述。 予想の値は記述せず、「次第に弱まる」を記述。</p>
---	---

例 IcingPart の例 (/Control/Title="地方海上警報 (H 2 8) " の場合)

例	解説
<pre><IcingPart> <SubArea> <Sentence>サハリン東方海上では 弱い着氷の恐れがある</Sentence> <Base> <jmx_eb:Icing type="着氷の程度" description="弱い着氷">弱い</jmx_eb:Icing> </Base> </SubArea> </IcingPart></pre>	<p><u>実況の場合。</u></p> <p><u>平文を記述。</u></p> <p><u>着氷の程度を記述。</u></p>
<pre><IcingPart> <SubArea> <Sentence>サハリン東方海上では 後 並みの着氷となる恐れがある</Sentence> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmx_eb:Icing type="着氷の程度" description="並みの着氷">並</jmx_eb:Icing> </Becoming> </SubArea> </IcingPart></pre>	<p><u>予想で後現象が発現する場合。</u></p> <p><u>平文を記述。</u></p> <p><u>予想の値のみなので、Base 要素は省略。</u></p> <p><u>予報の対象期間を記述。</u></p> <p><u>着氷の程度を記述。</u></p>
<pre><IcingPart> <SubArea> <Sentence>サハリン東方海上では 並みの着氷の恐れがあるが 1 0 日 2 1 時までには 次第に弱まる見込み</Sentence> <Base> <jmx_eb:Icing type="着氷の程度" description="並みの着氷">並</jmx_eb:Icing> </Base> <Becoming> <TimeModifier>1 0 日 2 1 時まで</TimeModifier> <jmx_eb:Icing type="着氷の程度" condition="次第に弱まる" description="次第に弱まる"/> </Becoming> </SubArea> </IcingPart></pre>	<p><u>予想で次第に収まる場合。</u></p> <p><u>平文を記述。</u></p> <p><u>着氷の程度を記述。</u></p> <p><u>予報の対象期間を記述。</u></p> <p><u>予想の値は記述せず、「次第に弱まる」を</u></p>

<u></Becoming></u> <u></SubArea></u> <u></IcingPart></u>	<u>記述。</u>
--	------------

以上

平成 28 年 11 月 21 日
気象庁予報部予報課

地方海上予報XMLの解説

全体構成

タグ	解説
Report	
Control	管理部。
Title	“地方海上予報”又は“ 地方海上予報(H28) ”と記述する。
DateTime	発表時刻を“2008-08-29T00:10:00Z”のように協定世界時で記述する。未来時刻にはならない。
Status	運用状況を“通常”、“訓練”、“試験”のいずれかで記述する。
EditorialOffice	“札幌管区气象台”、“仙台管区气象台”のように地方海上予報警報の海域に応じた官署名を記述する。ただし、本庁予報課の場合、“気象庁本庁”と記述する。
PublishingOffice	“札幌管区气象台”、“仙台管区气象台”のように地方海上予報警報を発表する官署名を記述する。ただし、本庁予報課の場合、“気象庁予報部”と記述する。
Head	ヘッダ部。Headの詳細を参照。
Body	内容部。Bodyの詳細を参照。

Head の詳細

タグ	解説
Head	
Title	地方海上予報の海域に応じて、“札幌海上気象”、“仙台海上気象”、“東京海上気象”のように記述する。
ReportDateTime	本情報の公式な発表時刻を“2008-08-29T00:10:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
TargetDateTime	本情報の対象となる基点時刻を“2008-08-29T00:10:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
TargetDuration	本情報の対象期間を、TargetDateTime からの日数及び時間数で示す。日数は P に続けて、時間数は T に続けて記述する。P1DT17H の場合、TargetDateTime から 1 日と 17 時間先までの予報であることを意味する。
EventID	値は記述しない(空タグとする)。
InfoType	“発表”、“訂正”、“遅延”のいずれかを記述する。
Serial	値は記述しない(空タグとする)。
InfoKind	“地方海上予報”と記述する。
InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョンを記述する。本解説のバージョン番号は“1.0_0” 又 は“1.0.1”。
Headline	見出し要素。防災気象情報事項となる見出し要素を示す。
Text	見出し文。地方海上予報では値は記述しない(空タグとする)。

Body の詳細

タグ	解説
Body	
Warning	地方海上警報予報区に対する海上警報の発表状況を記述する。
@type	“地方海上警報発表状況”と記述する。
Item	
Kind	
Name	“海上濃霧警報”のような海上警報名を記述する。ただし、海上警報が発表されていない場合は要素を省略する。
Code	“22” (海上暴風警報のコード番号)のように海上警報名に対応する海上警報コード番号を記述する。ただし、海上警報が発表されていない場合は要素を省略する。
Status	通常は要素を省略する。海上警報が発表されていない場合、“海上警報なし”と記述する。
Area	地方海上予報区を記述する。
Name	“四国沖南部”のように海上警報の発表状況を示す地方海上予報区名を記述する。
Code	“4030”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。
MeteorologicalInfos	
@type	<p>“気象要因”、“観測実況”、“地方海域の予報”のいずれかを記述する。それぞれ、</p> <ul style="list-style-type: none"> /MeteorologicalInfos@type = "気象要因" /MeteorologicalInfos@type = "観測実況" /MeteorologicalInfos@type = "地方海域の予報" <p>の詳細を参照。</p>

/MeteorologicalInfos@type = "気象要因"の詳細

タグ	解説
MeteorologicalInfos	概況事項を記述する。
@type	“気象要因”と記述する。
MeteorologicalInfo	概況を記述する。
DateTime	観測時刻を“2008-08-13T06:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
Name	観測日時を“13日06時”のように記述する。
Item	
Kind	
Property	概況の内容を記述する。
Type	“概況”と記述する。
SynopsisPart	じょう乱など、警報の要因となっている事項を記述する。
jmx_eb:Synopsis	台風や低気圧などのじょう乱の諸元、前線、あるいは“所々濃霧が発生している”、“気圧の傾きが急になっている”などのように、概況の平文を記述する。概況がない場合は値(平文)を記述しない(「空タグ」とする)。
@type	“気象要因”と記述する。
Area	地方海上予報区を記述する。
Name	“四国沖北部”のように概況の対象とする地方海上予報区名を記述する。
Code	“4030”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。

/MeteorologicalInfos@type = "観測実況"の詳細

タグ	解説
MeteorologicalInfos	地上気象観測の観測実況を記述する。
@type	“観測実況”と記述する。
MeteorologicalInfo	観測実況を記述する。
DateTime	地上気象観測の観測時刻を“2008-08-13T06:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
Name	“13日06時”のように観測時刻を記述する。
Item	
Kind	
Condition	観測値の状態に応じて“通常”、“欠測あり”、“入電なし”のいずれかを記述する。 “欠測あり”は、観測要素の一部が不明、欠測となっている場合に記述する。 “入電なし”は、観測要素のすべてが不明、欠測となっている場合に記述する。
Property	地上気象観測の観測要素を個別に記述する。なお、/Condition が“入電なし”のときは、すべての観測要素の記述を省略する。
Type	観測要素について“風”、“天気”、“気圧”、“気温”、“視程”のいずれかを記述する。
WindDirectionPart	/Property/Type = "風"のとき、WindSpeedPart と併せて記述する。
jmx_eb:WindDirection	風向の観測値を“北西”のように記述する。風向不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。
@type	“風向”と記述する。
@unit	“16方位漢字”と記述する。
@condition	観測値を記述するときは省略する。静穏または風向が不定、不明のときは、それぞれ“静

	穏”、“不定”、“不明”と記述する。
@description	観測値を記述するときは省略する。静穏または風向が不定、不明のときは、それぞれ“静穏”、“風向不定”、“風向不明”と記述する。
WindSpeedPart	/Property/Type = "風"のとき、WindDirectionPart と併せて記述する。
jmx_eb:WindSpeed	風速の観測値を“3”のように記述する。風速不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。なお、風向が“静穏”のときは風速は“0”となる。
@type	“風速”と記述する。
@unit	単位を“ノット”と記述する。
@condition	観測値を記述するときは省略する。風速が不明のときは“不明”と記述する。
@description	観測値の風速を“3ノット”のように記述する。風速が不明のときは“風速不明”と記述する。
WeatherPart	/Property/Type = "天気"のとき記述する。
jmx_eb:Weather	天気の観測値を“晴”のように記述する。天気が不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。
@type	“天気”と記述する。
@condition	観測値を記述するときは省略する。天気が不明のときは“不明”と記述する。
@description	観測値を記述するときは省略する。天気が不明のときは“天気不明”と記述する。
PressurePart	/Property/Type = "気圧"のとき記述する。
jmx_eb:Pressure	気圧の観測値を“1022”のように記述する。気圧が不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。
@type	“気圧”と記述する。
@unit	単位を“hPa”と記述する。
@condition	観測値を記述するときは省略する。気圧が不明のときは“不明”と記述する。
@description	観測値を“1022ヘクトパスカル”のように記述する。気圧が不明のときは“気圧不明”と記

	述する。
TemperaturePart	/Property/Type = "気温"のとき記述する。
jmx_eb:Temperature	気温の観測値を“-8”のように記述する。気温が不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。
@type	“気温”と記述する。
@unit	単位を“度”と記述する。
@condition	観測値を記述するときは省略する。気温が不明のときは“不明”と記述する。
@description	観測値を“マイナス8度”のように記述する。気温が不明のときは“気温不明”と記述する。
VisibilityPart	/Property/Type = "視程"のとき記述する。
jmx_eb:Visibility	視程の観測値を“10”のように記述する。視程が不明のときは値を記述しない(「空タグ」とする)。
@type	“視程”と記述する。
@unit	単位を“海里”と記述する。
@condition	観測値を記述するときは省略する。視程が不明のときは“不明”と記述する。
@description	観測値を“10海里”のように記述する。視程が不明のときは“視程不明”と記述する。
Station	観測地点に関する情報を記述する。
Name	“室戸岬”のように観測地点名を記述する。
Code	“47898”のように観測地点の国際地点番号を記述する。

/MeteorologicalInfos@type = "地方海域の予報"の詳細

タグ	解説
MeteorologicalInfos	地方海上予報区毎の地方海上予報を記述する。
@type	“地方海域の予報”と記述する。
MeteorologicalInfo	地方海上予報を記述する。
DateTime	予報の基点時刻を“2008-08-29T19:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
Duration	予報期間の長さを日数及び時間数で示す。日数は P に続けて、時間数は T に続けて記述する。P1DT17H の場合、1 日と 17 時間の予報であることを意味する。
Name	“今日から明日”のように予報期間をかな漢字で記述する。
Item	
Kind	
Property	地方海上予報の内容を記述する。
Type	予報要素について“風”、“天気”、“視程”、“波”、“流水”のいずれかを記述する。
WindPart	WindPart の詳細を参照。
WeatherPart	WeatherPart の詳細を参照。
VisibilityPart	VisibilityPart の詳細を参照。
WaveHeightPart	WaveHeightPart の詳細を参照。
SealcePart	SealcePart の詳細を参照。
Area	地方海上予報区を記述する。
Name	“四国沖北部”のように概況の対象とする地方海上予報区名を記述する。
Code	“4030”のように地方海上予報区名に対応する地方海上予報区コード番号を記述する。

WindPart の詳細

タグ	解説
WindPart	風に関する予報を記述する。
SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのもの場合は要素を省略する。
Sentence	“南西 30ノット(15メートル) 後 北西 65ノット(35メートル)” <u>又は“南西 30ノット(15メートル) 10日15時までに 北西 65ノット(35メートル)”(/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合に限る。)</u> のように地方海上予報の平文を記述する。
Base	風の予報を記述する。風が変化する場合は、変化前の状態を記述する。
jmx_eb:WindDirection	風向を“南西”のように記述する。
@type	“風向”と記述する。
@unit	“8方位漢字”と記述する。
jmx_eb:WindSpeed	“65”、“35”のように風速を記述する。
@type	“風速”と記述する。
@unit	“ノット”、“m/s”のように単位を記述する。
@description	“65ノット”、“35メートル”のように記述する。
Becoming	風の予報で、風が変化する場合の変化後の状態を記述する。変化がない場合は要素を省略する。 <u>/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</u>
TimeModifier	<u>/Control/Title="地方海上予報"の場合は“後”又は“今後24時間以内に”のように、/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合は“後”又は“10日15時までに”のように、</u>

	予報の対象時間を 語句 として記述する。
jmx_eb:WindDirection	風向を“南西”のように記述する。
@type	“風向”と記述する。
@unit	“8方位漢字”と記述する。
jmx_eb:WindSpeed	“30”、“15”のように記述する。
@type	“風速”と記述する。
@unit	“ノット”、“m/s”のように単位を記述する。
@description	“30ノット”、“15メートル”のように記述する。
Remark	「突風に注意」など、付加事項を記述する。付加事項がない場合は要素を省略する。

WeatherPart の詳細

タグ	解説
WeatherPart	天気に関する予報を記述する。
SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのものの場合は要素を省略する。
Sentence	“曇時々雨 所により雷を伴い 所により霧”のように地方海上予報の平文を記述する。
Base	天気の予報を記述する。天気の変化する場合は、変化前の状態を記述する。
jmx_eb:Weather	卓越天気を“曇時々雨”のように記述する。
@type	“天気”と記述する。
Local	地域天気を記述する。地域天気がない場合は要素を省略する。
Sentence	“所により雷を伴い 所により霧”のように地域天気を平文で記述する。
@type	“地域天気”と記述する。
Becoming	天気の予報で、天気の変化する場合の変化後の状態を記述する。変化がない場合は要素を省略する。
TimeModifier	“後”のように予報の対象時間を記述する。
jmx_eb:Weather	卓越天気を“晴時々曇”のように記述する。
@type	“天気”と記述する。
Local	地域天気を記述する。地域天気がない場合は要素を省略する。
Sentence	“所により雷を伴い 所により霧”のように地域天気を平文で記述する。
@type	“地域天気”と記述する。

VisibilityPart の詳細

タグ	解説
VisibilityPart	視程に関する予報を記述する。
SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのもの場合は要素を省略する。
Sentence	“10海里(20キロ) 後 3海里(6キロ)”又は“ <u>10海里(20キロ) 10日15時までに 3海里(6キロ)</u> ”(/Control/Title="地方海上予報(H28)" の場合に限る。)のように地方海上予報の平文を記述する。
Base	視程の予報を記述する。視程が変化の場合は、変化前の状態を記述する。
jmx_eb:Visibility	“10”、“20”のように視程を記述する。
@type	“視程”と記述する。
@unit	“海里”または“km”のように単位を記述する。
@description	“10海里”、“20キロ”のように記述する。
Local	地域的な視程を記述する。地域的な視程がない場合は要素を省略する。
jmx_eb:Visibility	“0.3”、“0.5”のように記述する。
@type	“視程”と記述する。
@unit	“海里”または“km”のように単位を記述する。
@condition	“以下”のように記述する。
@description	“0.3海里以下”、“0.5キロ以下”のように記述する。
Becoming	視程の予報で、視程が変化する場合の変化後の状態を記述する。変化がない場合は要素を省略する。 <u>/Control/Title="地方海上予報(H28)" の場合、最大2つまで表現し、予想</u>

	<u>する時刻に沿って記述する。</u>
TimeModifier	<u>/Control/Title="地方海上予報"の場合は“後”-又は“今後24時間以内に”のように、</u> <u>/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合は“後”又は“10日15時までに”のように、</u> 予報の対象時間を <u>語句として</u> 記述する。
jmx_eb:Visibility	“2”、“4”などのように記述する。
@type	“視程”と記述する。
@unit	“km”または“海里”のように単位を記述する。
@description	“2海里”、“4キロ”のように記述する。
Local	地域的な視程を記述する。地域的な視程がない場合は要素を省略する。
jmx_eb:Visibility	“0.3”、“0.5”などのように記述する。
@type	“視程”と記述する。
@unit	“海里”または“km”のように単位を記述する。
@condition	“以下”のように記述する。
@description	“0.3海里以下”、“0.5キロ以下”のように記述する。

WaveHeightPart の詳細

タグ	解説
WaveHeightPart	波に関する予報を記述する。
SubArea	対象となる地方海上予報区または地方海上予報区内の特定海域(地域)に対する海上警報を記述する。
AreaName	“国後水道”や“沿岸部”など地方海上予報区内の特定海域(地域)を指す名称を記述する。特定海域(地域)ではなく、地方海上予報区そのもの場合は要素を省略する。
Sentence	“4メートル 後 3メートル”又は“4メートル 10日15時までに 3メートル” <u>(/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合に限る。)</u> のように地方海上予報の平文を記述する。海氷で覆われ予報ができない場合は“海氷のため予報なし”と記述する。
Base	波の予報を記述する。波が変化する場合は、変化前の状態を記述する。
jmx_eb:WaveHeight	“6”のように記述する。海氷で覆われ予報ができない場合は値を記述しない(「空タグ」とする)。
@type	“波高”と記述する。
@unit	単位を“m”と記述する。
@condition	通常は属性を省略する。海氷で覆われ予報ができない場合は“予報なし”と記述する。
@description	“6メートル”のように記述する。海氷で覆われ予報ができない場合は“海氷のため予報なし”と記述する。
Becoming	波の予報で、波が変化する場合の変化後の状態を記述する。変化がない場合や、海氷で覆われ予報ができない場合は要素を省略する。 <u>/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合、最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</u>
TimeModifier	“後”のように記述する。 <u>/Control/Title="地方海上予報"の場合は“後”又は“今後24時間</u>

	<u>以内に”のように、/Control/Title="地方海上予報(H28)"の場合は“後”又は“10日15時までに”のように、予報の対象時間を語句として記述する。</u>
jmx_eb:WaveHeight	“4”のように記述する。
@type	“波高”と記述する。
@unit	単位を“m”と記述する。
@description	“4メートル”のように記述する。

SealcePart の詳細

タグ	解説
SealcePart	主に流氷が発生する冬期に、流氷に関する予報を記述する。予報を行わないときは要素を省略する。
SubArea	対象となる地方海上予報区に対する海上警報を記述する。
Sentence	“流氷が発生する”-のように地方海上予報の平文を記述する。
Base	流氷の予報を記述する。
jmx_eb:Sealce	“あり”、“なし”、“発生”、“消滅”のいずれかを記述する。
@type	“流氷”と記述する。
@description	“流氷あり”、“流氷なし”、“流氷が発生する”、“流氷が消滅する”のいずれかを記述する。

例 /MeteorologicalInfos@type = "観測実況"の例

例	解説
<pre> <Item> <Kind> <Condition>通常</Condition> <Property> <Type>風</Type> <WindDirectionPart> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="1 6 方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> </WindDirectionPart> <WindSpeedPart> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="5 ノット">5</jmx_eb:WindSpeed> </WindSpeedPart> </Property> <Property> <Type>天気</Type> <WeatherPart> <jmx_eb:Weather type="天気">快晴</jmx_eb:Weather> </WeatherPart> </Property> <Property> <Type>気圧</Type> <PressurePart> <jmx_eb:Pressure type="気圧" unit="hPa" description="1 0 2 4 ヘクトパスカル">1024</jmx_eb:Pressure> </PressurePart> </Property> <Property> <Type>気温</Type> <TemperaturePart> <jmx_eb:Temperature type="気温" unit="度" description="マイナス 1 2 度">-12</jmx_eb:Temperature> </TemperaturePart> </Property> </Property> </Item> </pre>	<p>通常の観測実況の記述例。</p> <p>風向・風速。</p> <p>天気。</p> <p>気圧。</p> <p>気温。</p>

<pre> <Type>視程</Type> <VisibilityPart> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" description=" 1 0 海里">10</jmx_eb:Visibility> </VisibilityPart> </Property> </Kind> <Station> <Name>網走</Name> <Code>47409</Code> </Station> </Item> <Item> <Kind> <Condition>欠測あり</Condition> <Property> . . . </Property> </Kind> <Station> <Name>留萌</Name> <Code>47406</Code> </Station> </Item> <Type>風</Type> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit=" 1 6 方位漢字" condition="不明" description="風向不明"/> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="不明" description="風速不明"/> <Type>天気</Type> <jmx_eb:Weather type="天気" condition="不明" description="天気不明"/> <Type>気圧</Type> <jmx_eb:Pressure type="気圧" unit="hPa" condition="不明" description="気圧不明"/> </pre>	<p>視程。</p> <p>観測地点。</p> <p>一部の要素に欠測がある場合の例。 要素毎の欠測記述例は別途記載。</p> <p>観測地点。</p> <p>風向・風速の欠測例。 風向の欠測例。 風速の欠測例。</p> <p>天気の欠測例。</p> <p>気圧の欠測例。</p>
---	--

<pre> <Type>気温</Type> <jmx_eb:Temperature type="気温" unit="度" condition="不明" description="気温不明"/> <Type>視程</Type> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="不明" description="視程不明"/> <Item> <Kind> <Condition>入電なし</Condition> </Kind> <Station> <Name>寿都</Name> <Code>47421</Code> </Station> </Item> </pre>	<p>気温の欠測例。</p> <p>視程の欠測例。</p> <p>観測実況が入電なしの例。</p> <p>観測地点。</p> <p>入電無しときは、各要素は省略する。</p>
--	---

例 WindPart の例 ([C /Control/Title="地方海上予報"の場合](#))

例	解説
<pre> <WindPart> <SubArea> <Sentence>南西 20ノット(10メートル) 後 南西又は北西 25ノット(13メートル) </Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="20ノット">20</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="10メートル">10</jmx_eb:WindSpeed> </Base> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">北西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="25ノット">25</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="13メートル">13</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> </SubArea> </WindPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>風向は1ないし2つ記述。 風速は単位を変えて記述。 風速は1ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。</p> <p>変化後の予想がある場合に記述(無ければ省略)。</p>

例 WindPart の例 (/Control/Title="地方海上予報 (H 2 8) " の場合)

例	解説
<pre> <WindPart> <SubArea> <Sentence>南西 20ノット(10メートル) 10日21時までに 南西又は北西 30ノット(15メートル) 1 1日15時までに 北 55ノット(30メートル) 突風に注意</Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="20ノット">20</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="10メートル">10</jmx_eb:WindSpeed> </Base> <Becoming> <TimeModifier>10日21時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">北西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="30ノット">30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="15メートル">15</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Becoming> <TimeModifier>11日15時までに</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">北</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="55ノット">55</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="30メートル">30</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> <Remark>突風に注意</Remark> </SubArea> </WindPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>風向は1ないし2つ記述。 風速は単位を変えて記述。 風速は1ないし2組記述。ただし、2組とは、同じ単位でまとめた風速を1組とし、2組記述。 変化後の予想がある場合に最大2組まで記述(無ければ省略)。</p> <p>最大2つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</p> <p>必要時、付加事項を記述。</p>

例 WeatherPart の例

例	解説
<pre> <WeatherPart> <SubArea> <Sentence>晴時々曇 所により一時雨 後 晴</Sentence> <Base> <jmx_eb:Weather type="天気">晴時々曇</jmx_eb:Weather> <Local> <Sentence type="地域天気">所により一時雨</Sentence> </Local> </Base> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmx_eb:Weather type="天気">晴</jmx_eb:Weather> </Becoming> </SubArea> </WeatherPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>卓越の天気を記述。</p> <p>地域的な天気を記述（必要時）。</p> <p>変化後の予想天気がある場合記述（無ければ省略）。</p>

例 VisibilityPart の例

例	解説
<pre> <VisibilityPart> <SubArea> <Sentence>3.1から4.3海里（6.2から2キロ6キロ） 所により0.3海里（0.5キロ）以下</Sentence> <Base> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" description="3.1海里">3.1</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" description="4.3海里">4.3</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" description="6.2キロ">2</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" description="2.6キロ">6</jmx_eb:Visibility> <Local> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="海里" condition="以下" description="0.3海里以下">0.3</jmx_eb:Visibility> <jmx_eb:Visibility type="視程" unit="km" condition="以下" description="0.5キロ以下">0.5</jmx_eb:Visibility> </Local> </Base> </SubArea> </VisibilityPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>卓越の視程は単位を変えて記述。 また1ないし2組記述。</p> <p>地域的な視程をは単位を変えて記述 (必要時)。</p> <p>変化後の予想視程がない場合は省略 (ある場合 Becoming 以下を記述)。</p>

例 WaveHeightPart の例 ([/Control/Title="地方海上予報"の場合](#))

例	解説
<pre> <WaveHeightPart> <SubArea> <Sentence>4メートル 後 6メートル</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="4メートル">4</jmx_eb:WaveHeight> </Base> <Becoming> <TimeModifier>後</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="6メートル">6</jmx_eb:WaveHeight> </Becoming> </SubArea> </WaveHeightPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>波高を記述。</p> <p>変化後の予想がある場合に記述(無ければ省略)。</p>

例 WaveHeightPart の例 (/Control/Title="地方海上予報 (H 2 8) " の場合)

例	解説
<pre> <WaveHeightPart> <SubArea> <Sentence> 1 . 5 メートル 1 0 日 2 1 時まで 4 メートル 1 1 日 1 5 時まで 6 メートル</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="1 . 5 メートル">1.5</jmx_eb:WaveHeight> </Base> <Becoming> <TimeModifier> 1 0 日 2 1 時まで</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="4 メートル">4</jmx_eb:WaveHeight> </Becoming> <Becoming> <TimeModifier> 1 1 日 1 5 時まで</TimeModifier> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="6 メートル">6</jmx_eb:WaveHeight> </Becoming> </SubArea> </WaveHeightPart> </pre>	<p>平文で記述。</p> <p>波高を記述。</p> <p>変化後の予想がある場合に最大 2 組まで記述 (無ければ省略)。</p> <p>最大 2 つまで表現し、予想する時刻に沿って記述する。</p>

例 SealcePart の例

例	解説
<pre><SealcePart> <SubArea> <Sentence>流水あり</Sentence> <Base> <jmx_eb:Sealce type="流水" description="流水あり">あり</jmx_eb:Sealce> </Base> </SubArea> </SealcePart></pre>	<p>平文で記述。</p> <p>流水の状態（予想）を記述。</p>

以上